

平成17年度施政方針と予算案の概要

地域づくりからまちづくりを



予算の大綱

新市の「まちづくり元年」の予算となることから、合併特例債などを有効活用し、新市建設計画の施策を計画的に推進する一方、限られた財源の効率的・効果的活用を基本に、「改革」「再生」「創造」「融合」の4つの基本的視点に立って、各種施策に取り組みます。

【施策の柱】

- 1 自然と歴史的資源を活用した潤いのまちづくり
- 2 笑顔があふれる健康と福祉のまちづくり
- 3 若者が集い活気に満ちたにぎわいのまちづくり
- 4 豊かな人間を育てる教育と文化のまちづくり
- 5 都市基盤の整った安全で快適なまちづくり

第1回光市議会定例会が3月2日から開催され、平成17年度予算などの議案が審議されました。議会の初日、市長から平成17年度の施政方針と予算案の説明がありましたので、その概要を「紹介します」。

はじめに

平成12年4月の「地方分権一括法」の施行以来、分権型社会への移行が徐々に進み、行政のみならず地域住民にも、自主・自立による個性ある地域づくりへの意識が芽生えつつあります。第27次地方制度調査会でも「分権型社会では、住民自治が重視されなければならない」と、住民や「ミニミニ」組織、NPOその他の民間セクターとも協働し、相互に連携して新しい公共空間を形成していくことを目指すべき」との答申がなされています。

今、地方自治体は、少子高齢社会や人口減少社会への対応、2007年問題、環境問題、教育問題など、行政だけでは対応が困難な課題に直面しています。これらの解決には、職員はもとより地域住民の皆さんにも意識改革をお願いし、国や地方自治体への依存体質から脱却して、自治会や町内会をはじめ、NPOやボランティア団体など

の市民団体と行政とが対等な協力関係を築くことにより、自主自立による「ミニミニ」を形成するなど、都市経営システムの見直しが必要です。

合併して新たなまちづくりを進めようとする今こそ、地域の自主性と自己責任に基づく地域社会の構築を目指す「自らの力で歩みつつけるまち」の実現に努めなければなりません。

幸い、光市では、児童生徒のあいさつ運動の推進、自治会などを中心とした自主防災組織の設立や防犯など安全安心の地域づくり、ボランティアやNPOなどテーマ型の社会貢献活動などの取り組みが活発化しており、市民の潜在能力の高さを実感しています。

市では、「つづいた市民活動を促進するため、新市発足にあわせ「地域づくり推進室」を設置しましたが、今年度は、市民参加により、地域づくりの基本方針を策定したいと考えています。新市建設計画の中でも、市民との共創・協働によるまちづくりの実現が、

施策の概要

自然と歴史的資源を活用した潤いのまちづくり

海岸松林の保全対策 市民の参加協力により植栽を実施するとともに、松林の保育や、薬剤の樹幹注入・土壌改良などの松くい虫防除を継続します。環境緑化対策 公園や緑地の計画的な整備に努めるとともに、新たに市民との共創・協働による緑花ボランティア育成支援事業に取り組みます。



歴史的资源の保存・活用 「石城山神籠石」の地すべり箇所

の保存・活用をすすめます。環境保全対策 エコリーター認定者の活動支援や、竹炭を活用した河川浄化活動モデル事業に取り組みなど、環境保全活動の推進に努めます。

不燃物対策 後畑埋立処理場の新たな最終処分場とリサイクル処理施設は平成19年秋頃の完成を目指し、建設用地の造成に着手します。また、ピーチクリーナーの更新や市民参加によるまちごと環境美化に取り組みます。

公害対策 島田川や光井川河口などの公共用水域での水質調査を実施する

とともに、自動車の排ガス対策や大気汚染監視体制の充実に努めます。

笑顔があふれる健康と福祉のまちづくり

地域医療対策 2つの公立病院の特色を活かしながら、医療機能の充実に努めるとともに、病院事業の一元化による病院間の連携や機能分担を進め、経営の効率化を図るため、「中期経営計画」を策定します。

介護保険事業 介護相談員等派遣事業やケアマネジャー研修事業を充実するとともに、平成18年度からの事業計画期間に向け「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定します。

高齢者福祉 居宅生活支援事業や認知症予防事業などに取り組みほか、新たに長寿祝品支給事業を実施するとともに、老人クラブへの支援などを通じて、社会参加への促進に努めます。

障害者福祉 支援費制度の円滑な運営に努めるほか、NPOとの連携による障害者（児）総合サポート事業を継続するとともに、身体障害者「マイサー」バス助成事業などに取り組みます。

児童福祉 公立保育園で延長保育を開始するとともに、新たに病後児保育事業を実施します。また、新たにファミリーサポートセンターの開設や子育て食育事業に取り組みます。さらに、留守家庭児童教室に同時入所の第2子以降の保育料を半額に減免します。

計画の推進に欠かせない要素となり、それぞれ地域の特性や資源を活かした地域づくり活動を、光市全体の飛躍につなげ、活力と元気のある、連携と創造のまちづくりに結びつける政策形成が求められています。

そのためには、大和地域と光地域が一刻も早く一つに和し、同じ地域として一体感のある「光る個性 地域の和」と自然にやさしい生活創造都市の実現に努めなければなりません。

その意味で、平成17年度予算案は、新市「光市」の「まちづくり元年」の予算となるものであり、その中には、幅広く新市のまちづくりについて「意見をいただくため」「まちづくり市民協議会」の設置を提案しています。

また、地域づくりを総合的かつ体系的なまちづくりへと展開していくため、「新光市総合計画」を策定することについては、策定においては、「まちづくり市民協議会」を中心に進めるとともに、あらゆる機会をとらえて市民参画を促進し、新たな時代の要請を反映した市民のための計画にしたいと考えています。

新市のまちづくりに、多くの課題が山積していますが、議会をはじめ市民の皆様とともに手を携え、新しい「ふるさと光」の礎を築いてまいりたいと考えていますので、「一層のご支援」ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

母子保健事業 「おっぱい育児」を基本とした親子のふれあいを施策の中心に、妊婦健診や乳幼児健診、育児相談等に取り組みるとともに、引き続き「おっぱいまつり」を実施します。

人権対策 基本的な人権の尊重という普遍的視点に立ち、「人権を考えるつどい」や各種研修会を開催するなど、人権教育・啓発活動の推進に努めます。男女共同参画の促進 「男女共同参画基本計画」の策定に向けた準備を進めるとともに、「女性のつどい」などへの支援を継続します。

地域安全対策 新1年生に携帯用防犯ブザーの配布とともに、警察等と連携し地域の防犯パトロールを進めます。また、ガードレールや街路灯など交通安全施設の整備充実に努めます。

保健予防対策 健康診断や予防接種、生活習慣病などの予防教室、健康教室、訪問指導などに取り組みとともに、新たな健康づくりの指針として「健康増進計画」を策定します。

また、三馬温泉健康交流施設を建設するため、民間活力の活用可能性を含め、基本構想等の策定を進めます。

スポーツ・レクリエーションの推進 体育指導委員や体育協会と連携し市

